様式2

都市再生整備計画　事後評価シート
金沢城東地区

令和7年3月

石川県　金沢市

様式２－１　評価結果のまとめ

都道府県名	石川県	市町村名	金沢市	地区名	金沢城東地区			面積	12.8ha
交付期間	令和元年度～令和5年度	事後評価実施時期	令和6年度	交付対象事業費	4,238.2百万円	国費率	0.5		

1）事業の実施状況

			事業名
当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業		地域交流広場整備事業、緑地整備事業、辰巳用水修景整備事業、回遊ルート整備事業、歩行者空間整備事業、地域交流センター整備事業、金沢美術工芸大学建設事業
	提案事業		－

		事業名	削除/追加の理由	削除/追加による目標、指標、数値目標への影響
当初計画から削除した事業	基幹事業	小立野2丁目線事業	隣接して整備する石川県立図書館の敷地内においても同様の機能が確保されるため。	当該事業の削除は計画の指標に影響を与えない。
	提案事業	－	－	－
新たに追加した事業	基幹事業	雨水貯留施設整備事業	当初より雨水貯留施設を整備予定であり、基本設計および実施設計が進捗し、施設の概要が決定したため。	当初指標を設定した際に盛り込み済みであり、指標への影響は生じない。
	提案事業	公共交通待合環境整備事業	交通事業者との協議により、利用者の利便性向上のためにバス停に屋根を設置することになったため。	「金沢美術工芸大学の一般利用者数」「石川県立図書館の利用者数」の目標を達成するための補完事業であるが、公共交通による来館者等の利便性をより高めることを目的としており、指標及び目標値の見直しは行わない。

交付期間の変更			交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響
	当　初	令和元年度～令和5年度	－
	変　更	なし	

2）都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況

指　標		単位	従前値	基準年度	目標値	目標年度	数　値 モニタリング	数　値 評価値	目標達成度	1年以内の達成見込み		効果発現要因（総合所見）	フォローアップ予定時期
指標1	周辺居住誘導区域内の人口	人/年	△30	H27～29	0	R3～R5	－	12	○	あり なし		県立図書館及び金沢美術工芸大学の移転により文教地区としての都市機能が向上した。また、地域の資源を生かした緑地空間や親水空間の整備により快適な住環境が創出されたことや、交通利便性が向上したことで区域全体の魅力が向上した。	－
指標2	金沢美術工芸大学の一般利用者数	人/年	3,000	H29	23,000	R5	－	20,900	△	あり なし	●	現状、目標値にはわずかに達していないものの、市民や一般の方に向けたイベントを随時開催している。移転に伴い、一般利用者が訪れやすい施設の整備やバス停が整備され一般利用者数の増加に繋がっている。	－
指標3	石川県立図書館の利用者数	人/年	245,000	H29	600,000	R5	－	1,026,046	○	あり なし		本を貸し借りするだけの場ではなく、訪れたり長居したくなる読書スペース、イベントや生涯学習の場としての機能をもつことで、幅広い方々に利用された。	－

	指　標		単位	従前値	基準年度	目標値	目標年度	数　値 モニタリング	数　値 評価値	目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因（総合所見）	フォローアップ予定時期
3）その他の数値指標（当初設定した数値目標以外の指標）による効果発現状況	その他の数値指標1	金沢美術工芸大学のオープンキャンパス来場者数	人/年	1,820	H29				2,059			元々積極的に地域連携を図っていたことから地域からの評価や認知度も高い学校であり、今回県立図書館の向かいに移転したことで立地的にも開かれた学校となったことから、より関心度が高まった。	ー

4）定性的な効果発現状況	・石川県立図書館の開館に伴い、金沢駅発「金沢大学附属病院」行きの路線バスが「石川県立図書館」まで延伸された。これにより学生や図書館利用者はもとより、周辺住民においても公共交通の利便性が向上した。 ・石川県立図書館は建物やデザインが2022年度グッドデザイン賞やiFデザインアワード2024などの多数の賞を受賞するなど話題性が高く、観光地としても人気で入館者が多く訪れている。

		実施内容	実施状況		今後の対応方針等
5）実施過程の評価	モニタリング	－	都市再生整備計画に記載し、実施できた		－
			都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した		
			都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった		
	官民連携による取組	・地元説明会 ・視察、見学会	都市再生整備計画に記載し、実施できた		・所蔵品の展示や、工房での創作活動体験など、キャンパスを利用した様々な取組を通じて、地元をはじめとした市民に開かれた大学としての運営を行う。 ・金沢美術工芸大学は教育施設であるため、授業や研究に支障のない範囲で受入を行う。 ・石川県立図書館では定例の見学会を今後も継続実施する。
			都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した	●	
			都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった		
	持続的なまちづくり体制の構築	石川県と公立大学法人金沢美術工芸大学との包括連携に関する協定書の締結	都市再生整備計画に記載し、実施できた		協定に基づく協働によるイベント開催など、それぞれの強みを活かした取組を実施する。
			都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した	●	
			都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった		

様式２－２　地区の概要

金沢市金沢城東地区（石川県金沢市）　都市再生整備計画事業の成果概要

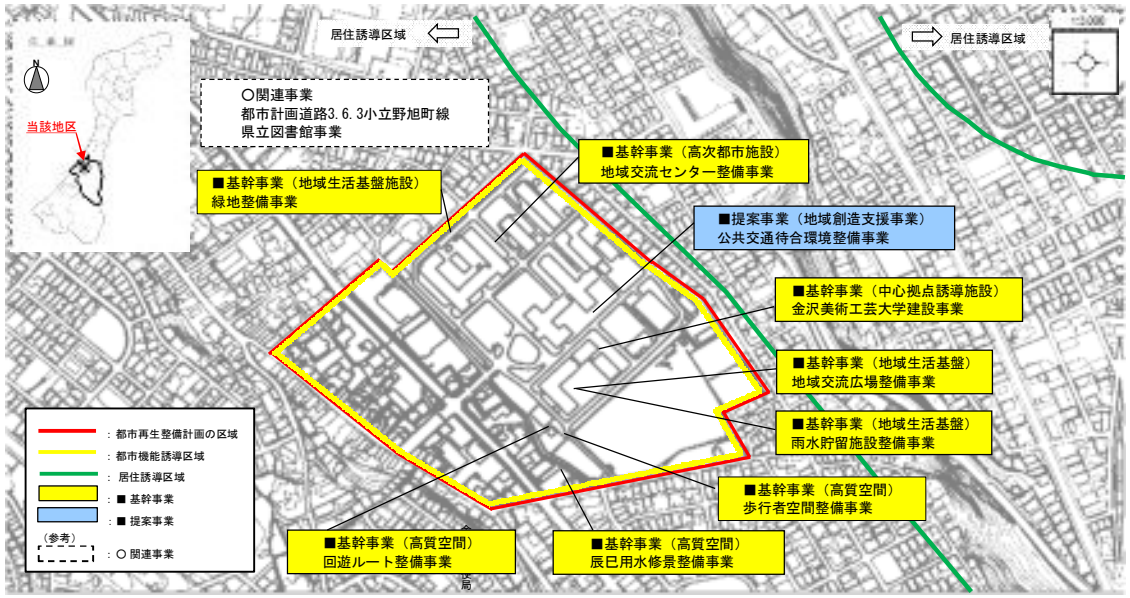
まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
大目標：芸術・文化・教育の発信拠点を整備し、地区の交流機能を向上させるとともに、持続可能で強靭な都市構造への再編を図る 目標1：芸術・文化・教育の発信・交流拠点を構築 目標2：良好な住環境の整備 目標3：災害ハザードエリア（土砂災害特別警戒区域）にある大学の移転整備を行う	周辺居住誘導区域内の人口	人／年	△30	H27～29	0	R3～R5	12	R3～R5
	金沢美術工芸大学の一般利用者数	人／年	3,000	H29	23,000	R5	20,900	R5
	石川県立図書館の利用者数	人／年	245,000	H29	600,000	R5	1,026,046	R5

金沢美術工芸大学建設事業

地域交流広場整備事業

回遊ルート整備事業

金沢城東地区（石川県金沢市）整備方針概要図



地域交流センター整備事業

緑地整備事業

辰巳用水修景整備事業

まちの課題の変化	・金沢美術工芸大学および県立図書館の移転により、魅力ある地域形成の核となる文教地区の都市機能が向上した。 ・施設整備にあわせて周辺の環境整備を一体的に進めることで、良好な住環境が創出され区域内人口の維持に寄与した。 ・想定した以上の来訪者による県立図書館の駐車待ちによる混雑の緩和策の検討が必要である。
今後のまちづくりの方策（改善策を含む）	・金沢美術工芸大学および県立図書館を利用しやすい環境を整えるとともに、継続的にイベントなどを実施し交流人口の増加に努める。また、施設の適切な維持管理に努める。 ・バスやレンタサイクルなど公共交通の利用を積極的に促すことで、駐車場付近の混雑解消につなげる。